

ヘルシーナ 健康応援 ナビ

健康課
市役所内
☎23-3515
あつみライフランド
☎33-0386



たばこは危険がいっぱい 妊婦や赤ちゃんへの影響

田原市で令和5年度に母子手帳交付を受けた妊婦の喫煙率は1%以下で、たばこを吸っている妊婦はほとんどいませんでしたが、同居家族の喫煙率は約30%となっており、家庭内で妊婦や乳幼児がたばこの煙にさらされる危険があります。

たばこの煙には多くの有害物質が含まれており、妊娠・出産・子どもの成長に大きな影響があります。



妊婦・出産へのたばこの影響

たばこの煙に含まれるニコチンや一酸化炭素は、胎盤やへその緒の血液量を減らす作用があります。お腹の

赤ちゃんは、血液量の減少によって十分に成長することができなくなり、早産や低出生体重児などのリスクにつながります。

乳幼児へのたばこの影響

① たばこによる事故

乳幼児の誤飲事故で最も多いのはたばこです。



ニコチンによる強い血管収縮作用により、血圧を上昇させたり、中毒を起したりするなど命の危険があります。

② 受動喫煙の影響

受動喫煙により、乳幼児突然死症候群のリスクが高まったり、喘息・気管支炎などの呼吸器系の病気にかかりやすくなったりします。

③ 授乳中のたばこの影響

授乳中のたばこは、母乳量が減少し、また、ニコチンが母乳へ移行してしまいます。母乳を飲んだ赤ちゃんは不眠、嘔吐、下痢などの中毒症状を起します。

たばこの危険を理解し、家族みんなで妊婦や赤ちゃんの健康を守りましょう。

带状疱疹の定期予防接種が始まります！

定期予防接種対象の方には、6月末に通知をお送りします。その他の方で、带状疱疹の予防接種を希望される方は、予防接種費用助成事業をご利用ください。

詳しくは市HPをご確認ください。



▲市HP

		定期予防接種(令和7年度)		予防接種費用助成事業	
対象者		①65・70・75・80・85・90・95・100歳以上の方(令和8年3月31日時点の年齢) ②60～64歳でヒト免疫不全ウイルスにより免疫の機能の障害があり、日常生活がほとんど不可能な方 ※過去に生ワクチンまたは組換えワクチン(2回)の接種が済んでいる方は対象外。		①～③の全てに該当する方 ①50歳以上(接種日の年齢) ②定期予防接種の対象者(左記)ではない ③次のいずれかに該当する ・過去に生ワクチンや組換えワクチンの予防接種を受けていない。 ・過去に組換えワクチンの予防接種を受けているが、2回目完了していない。	
接種期間		令和7年7月1日～令和8年3月31日		令和7年4月1日～令和8年3月31日	
接種回数 自己負担額	生ワクチン 乾燥弱毒生水痘ワクチン「ビケン」	接種回数	自己負担額	助成回数	自己負担額
		1回	3,000円	1回	接種費用から助成金額4,000円を引いた額
	組換えワクチン 乾燥組換え带状疱疹ワクチン(シングリックス筋注用)	接種回数	自己負担額	助成回数	自己負担額
		2回 (2か月以上の間隔)	7,000円/回	2回まで (2～6か月の間隔)	1回につき、接種費用から助成金額10,000円を引いた額